

第4期横浜市南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会にかかる意見書（集約）【確定版】

施設名： 横浜市陸地域ケアプラザ
 応募団体： 社会福祉法人たすけあいゆい

委員名	意見（評価できる点等）	質疑	回答
八森委員	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂や障がい者の関わりのある居場所づくりなど、地域特性を活かした取り組み 災害への取り組みなど地域に根付いた活動を行っている。 地域のつながりを創出するいろいろな取り組みが行われている。 	なし	
加賀美委員	<p>ケアプラザ周辺にある施設と連携し、様々な事業を行っている。この連携をきっかけとして、ケアプラザの利用があります。子どもの居場所づくりをはじめ、睦母子生活支援施設・高齢者デイサービス・児童デイサービスが合同の避難訓練を行っています。また、地域活動交流事業として、男性の料理教室や囲碁教室も盛んで、脳トレ効果もあり、女性や若い世代の参加者が増えているようです。難しい職業ですが伸びしろを増やし更なる飛躍を期待します。応援しています。</p>	なし	
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 居場所づくりが充実している事 各業務の充実に力を入れているところ 過去の相談ケールを利用していること 夜間に障害者太陽のダンス体験会の実施の取組みを行っていること 	なし	
川井委員	<ul style="list-style-type: none"> 近隣施設との連携・地域との関わりにて特徴が見られました。地域に溶け込んでいく姿勢に事業者が培ってこられた福祉の視点を感じさせられて好感と期待を持ちました。 	職員の育成について伺いたい。	積極的に資格取得を推進しています。ケアプラザの各業務の充実に向け、交流・生活支援は社会福祉士や社会福祉主事、包括支援センターは各職種のスキルアップを目指し、居宅介護支援は主任介護支援専門員の資格取得を目標とします。パート職員を含め、各自が毎年チャレンジシートを作成し、管理者と面談。業務に対する意欲・悩み等も確認し、研修にはシフト調整を行い受講できる環境を整備しています。法人として希望者には月に1回外注のカウンセラーによる面談を行い職員の定着と育成に努めています。人事考課は1級から8級まで設定、考課表により評価し昇級を目指す体制をとっています。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 「独居高齢者の見守り」をテーマにした地域ケア会議に複数の店舗が参加したりアンケートを実施することで、様々な視点から課題を抽出している。 	<p>5事業(4)地域包括支援センター運営事業 ア総合相談支援業務 ・総合相談事業において過去に相談があったケースについても効率的に対応できると記載があるが、どのようにシステム化されたのですか。</p>	相談ケースは年度毎に保管していますが、検索により過去の相談ケースも併せてファイルしてあるため経過を追うことができます。家族関係の変化や支援の有無の確認もできます。数年に渡って介護保険の利用に繋がらず、相談が続いているケースもあります。また、平成30年から総合相談支援業務管理システムの導入により、集計や相談内容・相談者のデータが簡潔にできるようになりました。
中根委員	<p>毎週土曜日の食堂の開催は、簡単にできることではありません。よく努力されていると思います。生活支援体制整備事業での買い物・サービスマップも実用的です。店舗も含めた高齢者の見守り体制という着眼点はユニークで効果的だと思いました。</p>	子どもや高齢者への取り組み以外に、障害のあるみなさまへの取り組みがあったら教えてください。	地域交流の事業では、就労後、参加できるよう障害のある成人のダンス体験会を夜間帯に企画。自主事業に発展し、発表の場にもつながりました。地域のサロンの手伝いを地域活動支援センターのメンバーに行ってもらった等のコーディネートを行っています。地域包括支援センターでは、「地域生活支援会議」に出席しケアマネジャー向けに障害制度や支援機関についての勉強会を開催します。
高羽委員	<ul style="list-style-type: none"> ケアプラザの周辺にある施設と連携し、様々な事業を行っていること。 また、この連携をきっかけに周辺施設の事業としてケアプラザを利用しているところ。 ケアプラザ付近の「子どもとみんなの居場所」（子どもが中心の子どもから大人まで楽しめる居場所）を開催しているところ。 地域交流の事業で就労後参加できるよう障害のある成人のダンス体験会を夜間帯に企画したことで、自主事業に、発表の場にもつながったという素晴らしい事例ですね。1人でも多くの方々が、生きがいを持つようにつながっていただければいいですね。 	なし	
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂を定期的で開催しているのは素晴らしい 孤立しやすい高齢者に対して「居場所」作りや料理教室などを行い支援されているのは学ぶべき点が多い 	なし	